信府統記 七

和書門 類 二九一六六 號 一二〇 函 一三 架 三三 冊

内閣文庫 和書 類 二九一六六 號 三三 冊 壱四函 一八 架

内閣文庫
番號 和 29166
冊數 33 (8)
函號 174 213

国立公文書館
National Archives of Japan

信府統記第七

信濃國郡境記巻五

内一〇九四五號
朽木文庫

一 筑摩郡知行高鄰國並郡境

一 當郡中與分古水帳寫

一 與々村數石高

一 嶋立與山川地理

一 麻績與山川地理

一 會田與山川地理 附保福寺鉱山ノ事
一 岡田與山川地理 附女鳥羽ノ事
一 山家與山川地理
一 出川與山川地理
一 鹽尻與山川地理
一 庄内與山川地理
一 當郡古戰場
一 他境傾廻百首歌 筑摩 安曇

筑摩郡

高五万四千八百六石四斗三升九合二勺
村數二百四十二
元禄年中国繪圖改メ記サレシ時ノ知行高村數ナリ 當郡木曽始メハ郡ノ内ニアラス元禄年中国繪圖改メラレシ時ヨリ當郡ニ定入ラレタリ 木曽ハ尾張殿領ナリ故ニ下ニ別ニ記ス 櫻沢ノ橋ヨリ北松本領ノ郡境尤ノ如シ

凡當郡ハ信濃ノ國府ナリ 郡ノ名トセル筑摩村ハ古ハ塚摩ノ字ヲ書タリトカヤ 近世筑摩ノ字ヲ用ユ 庄内ノ

地ナリ 庄内ノ号モ国府故ニカヤ 筑摩ノ神社ハ昔當國ニ
鬼神住テ人民ヲ悩シケル故退治セラレケル
時其鬼ノ首ヲコヽニ埋メ其上ニ神社ヲ建八
幡宮ヲ勧請アリシト云ヒ傳フ 此神社ノ縁起天正年中マテハ
社人所持セルノトコロニ小笠原家當地没落ノ時両
社人ノ内一人ハ別心シテ甲州ヘ属セリ又一人ノ社人ハ
兼テ小笠原家ノ歸国ヲ祈リ常ニ神前ニ燈明ヲ
サヽゲ祈禱懈リナキヨシ故貞慶歸参ノ砌社領
ヲ賜フトカヤ別心シタル一人ハ貞慶歸参ニ依テ怨
敵ノ意趣ノカレ難ク落失セシ時縁起マテ持行ケ
ルニヤ紛失セリ其後尋子求レ共叶ハズ今テアル
所ノ記ハ後ニ書記セル故慥ナラス宮中ニアル所ノ
物ハ神秘ニテ社人モ見ルコトアタハズト云サルニ依テ
此社ノ起発年代知レズ松本ノ城主代々修造
ナリ 祭禮等ノコトハ神社ノ部ニ記ス古書ニ
筑摩権現トアルハ此社ノコトナリ 是
筑摩郡ト称セル本ナリ當郡木曽ノ外ハ
過半松本領ナリ御代官所又ハ諏訪高
遠領少々入交リテアリ 委ク下ニ見ユ
一 木曽境ヨリ北ヘハ国中ニテ他國ヘ隣レル所
ナシ 郡境ハ西ノ方安曇界思川ノ中央
梓川ノ中央ナリ是ヨリ貞卯ノ方ヘ廿ノ

程科ニ木曽川ノ東ヘ安曇郡入込テ成
相組ノ大飼新田村ニ一ツアリ其北東ノ山ニ
一 尾入沢ト云アリ川ハ今ハ犀ト沢トモ云フ此邉ニテ梓川木
曽川ヘ落合是ヨリ川ノ号犀川ト称ス委細ハ舊
俗傳見ユ其下ニ熊倉橋アリ橋ノ北ニテ犀
川ノ西ヘ筑摩郡出張田沢村ノ内徳次郎
村川向ニアリ是レ犀川ノ流昔ニ替レル故ナリ塔ノ原村ノ邉
ヨリ北ノ方ヘ犀川ノ中央郡境赤科村

ヨリ更科郡大岡村ノ内桐沢村ノ邉マテ
右當郡ト安曇郡ノ境犀川ノ中央ナリ
舟場村東ニテ更科郡安ノ程細ノ犀
川ノ東涯ヘ出張ル所アリ是ニ桐沢村アル
ナリ即二郡ノ境ナリ
一 當郡ノ北ハ桐沢村ヨリ寅卯ノ方湯光坊
マテ松本領ナリ湯光坊ヨリ辰巳ノ方ヘ
更科郡ノ界共ニ皆山ナリ境目百姓并

論等アリシ地ハ別記ニ見ユ東ハ更科ト小
縣郡ノ界皇賀峠ノ西ヨリ半ハ小縣半
ヨリ南ハ諏訪郡ナリ此両郡界モ又皆
山ナリ筑摩郡ノ辰巳ノ隅ハ諏訪伊奈
郡ノ界ヨリ西ヘ南ノ方ハ伊奈郡ト木曽
界前ニ見ヘタル黒川ノ中央ヨリ西ハ安
曇ナリ

當郡中與分

凢筑摩郡慶長十九甲寅年頃マテハ惣
一 谷ヨリ府中ト称ヘテ村里ノ與分七十ケ
一 北筋南筋中筋等トシテ郷村ヲ分タテリ
其時ノ古キ水帳ニ残レル大概下ノコトシ
一 府中北山筋改帳村数十二 長井 阿坂 市ノ川 麻績 矢倉 野口 井堀 高村 桒山 西条 東条 日岐
府中南筋改帳三冊村数二十三 小野 床尾 平出 中挟

内田 今井 岩垂 小曽部 西洗馬 小野沢
針尾 古見 小坂 大池 竹田
西和田 西栗林 西神林 溝代
神戸 小股 今村 二子

一 府中筋改帳村數十二
泉 垣原 白姫 白川
百瀬 瀬黒 竹渕 次柳
出川 小嶋
野溝 平田

一 府中西筋改帳村數七
焼山 嶋々 大野田 波田
三溝 西新村 小宮

一 府中改帳村數三
松本 庄内
相原分

右八石川玄番頭御改易領知没收セラレテ後小笠原兵部太輔秀政入部ノ時改尋ヌルニヨリ郷中ヨリ書出セル水帳諸役帳残リテ今ニアリ其中ニ見ヘタル村里分ケナリ仁科ハ安曇郡ニ載ル是ヨリ後松本領両郡與分ヲ立村里ヲ其内ニ属セシム當郡中都而八與ナリ其号左ノコトシ但シ松平丹波守以来松本領七万石ニナリシ時ヨリ此郡ノ郷村分ケ減セラレ高遠諏訪或ハ御領所ヘ別レリ

嶋立與　麻績與　會田與　岡田與
山家與　出川與　鹽尻與　庄内與
一組切村數石高ハ下ニ載ル但シ村々ノ号并惣高ノ
内引方屋敷地寺社地其外入レ下ケ等ノ委細別記ニ見ユ

嶋立組村數石高

一 御朱印　村數十二
石高五千三百二十九石三升二合

一 國繪圖　村數十五
石高五千三百三十九石三升二合

一 當時在郷　村數十五
惣高七千七百二十八石七斗四合

麻績組村數石高

一 御朱印　村數二十三
石高四千四百七十二石七斗四升二合

一 國繪圖　村數二十三
石高四千四百七十九石七斗四升二合

一 當時在郷　村數二十三
惣高八千六百八十二石八斗二升五合二夕

會田組村數石高

一 御朱印　村數三十
石高四千六百二十六石六斗四升二合

一 國繪圖　村數三十五
石高四千七百九十四石三斗九升二合

一 當時在郷　村數三十五
惣高八千二百五十六石一斗八升二合七夕

国立公文書館
National Archives of Japan

一 岡田組村數石高
一 御朱印ノ村數十二
石高三千六百五十八石五斗五升二合
一 國繪圖村數十三
石高三千六百五十八石五斗五升二合
一 當時在郷村數十三
惣高五千五百七十六石一斗九升六合二夕
一 山家組村數石高
一 御朱印村數十六
石高三千三百六石七斗二升一合
一 国繪圖村數十七
石高三千三百四十七石五斗四升四合
一 當時在郷村數十七
惣高四千八百一石八斗二升一合

當時在郷村數百五十七但シ國繪圖ニ同シ
惣高五万七千六百四十石三斗三升二合九夕
但シ此高辻ハ前ニ記ス屋敷地寺社地等ノ除キ地ニテ加ヘタル故高多シトイヘトモ畢竟国繪圖ノ高正明ナリ其内猶引方損免等ハ別記ニアリ

八與ノ内他郡ヘ境ヘル山川等ハ前ニ記ストイヘトモ猶與切ニテ他領境ロ々番所方角道程等ノ委細又郡境ニ接ラサル當郡中ノ山嶽沢谷河池温泉境堤橋渡

堰

等聚メ記スコト左ノ如シ

嶋立組

一此組ハ松本ノ城ヨリ未申ノ方ニテ出川組ノ西ナリ山ハ未申ノ方ヘ出張レリ是ヲ黒川山ト云奥ノ山嶺ヲ八森ト云此嶺未申ノ方ハ木曽領南ハ高遠領北東ハ松本領嶋立組ナリ猶西ハ同領安曇郡上野組ナリ 安曇筑摩ノ郡堺

ハ黒川梓川ノ中央ナリ前ニ委ク見ヘタリ此黒川山高遠領松本領ノ百姓山論アリ 公義御裁許ヲ請シ地ナリ◦委ク別記ニ見ユ山ハ松本領屋作木ニ雑木ハ高遠領ヘモ伐取松本領ニテハ當組波多村ニ溝

村等入合雑木ハ貴木ニモ伐リ出ス 黒川ハ八森半ヨリ出テ
北へ流ル 小沢大久保沢ハ西南ヨリ 黒川へ落ル
大久保沢ノ下ニ大拥岩トテ 大キナル岩アリ西
ゟりさ沢雪ゟけ沢ハ西より黒川へ落ルから沢ゟりさ
沢ちけ名ハ沢川津沢まうら沢テ沢ニテ沢 深沢筆ハ
南東ヨリ黒川へ落ルささ沢南東ヨリ出テ梓川へ落
くりや保奈松久保ナト云所アリ猶小谷多ニトイヘトモ
擧ケ記シ難キカ故ニ略スコト何レノ山々モ同シ黒川
橋ハ九木ニ本ヲ渡シテ長七間アリ 上野組嶋立組ヨリ
掛ル 橋
ナリ
一 唐松峠 黒川山へ波多村ノ嶋ヨリ行
路ナリ 此路ノ南東領界中下原平林下原ハ
波田ノ分ナリ 此南東竹田村 古ハ高遠領中垣御料所ト
ナリ 今ハ水野壹岐守領

一 新井村和田町境村等並ニヘリ 委ク下出川組ニ見ヘタリ
此嶋ニ用水堰あつさ川より取ル上波多分遠
一 藤嶋押出ナト云所ノ嶋ヨリ別ケテ神林堰
和田堰トス又栗林堰ハ三溝安養寺ノ北ニア
リ新村堰ハ押出嶋ニテ別レ東へ流ル安養寺
ノ嶋ニテ東新村ノ用水ニ分ケ取ル樽川トテ梓
川ヨリ堀米へ諸木ヲ流シ入ル枝川アリ東
流ル是ニより田まち古あつさ川トテ樽川ノ別レ

アリ下ハ新橋ノ上成相與青嶋ノ南ニテ木曽
川ヘ落ル又和田堰ハ是ヨリ南ニテ南栗林村
ノ邊ヨリ木曽川ヘ落レ此南和田或ハ出
川與二子村梶海渡村ト並ベリ

一波田山ニ古城路アリ見ユ（古城記）此北ニ新池アリ此流ル
左右竹藪アリ赤松原手前林ナリ（此松原ヨリ毎秋人治ト云蕈出ル）
又神社寺院等ハ別ニ委ク記ス故爰ニ略ス

一堀米ト云所諸材木薪等ノ渡場アリ

定番人ノ長屋又材木小屋アリ西山ヨリ
出ル諸木梓川ヲ流シテ槫川ヨリ此所ニ
入レ積立テ置キ用木トス家中ノ薪（是ヲ流シ木ト云フ）
等モ是ニアリ奉行ノ切手ヲ以テ渡スナ
リ

麻績組

一此與西ハ犀川ヲ際リテ麻績ナリ南ニテ
安ノ裡圍田組界アリ川ノ西向南ハ嶋立組
ソレヨリ下ハ安曇郡保高池田大町組
界ナリ北ハ松代領境東ヘ押廻セリ東ニテ
ハ上田領堺モアリ鷹打場あんまん山ノ邊
より西川まて南東ハ會田組界ナリ

一犀川 此川ノコト水上ハ安曇郡ノ上野與梓川ノ下ニ見エ
又犀川ト号ス所以等ハ舊俗傳ニ載ル

一 筑摩安曇二郡ヨリ流レテ更科郡ニテ千
曲川ヘ落合フナリ 此川中央郡境ナリ下生
坂野原沢ノ邉ニ尾崎瀬ト云所アリ是
ヨリ松代領越中川村マテ十八町五十一間
内十六町二十七間尾崎瀬ヨリ領堺目マテナリ
堺目ヨリ二町二十四間越中川村マテ
峯川ノ涯ニ大岩アリロゲス岩ト云フ此レニ岩穴
アリ又女北ニ子持石トテ大石アリ此石領境
ナリ北ノ方ヘ押廻シ下生坂松代領トノ

堺ナリ 松本領マ込地村アリちゞ亀川平ウ
トウ平ナトアリ尾崎瀬ロヨリ松代領桐
沢マテ十七町二十七間
内十一町此方ヨリ堺目マテ
境目ヨリ桐沢マテ六町
二十三間程アリ がりめき峠ヲ越松代領小松尾
村いちご沢村ナト云アリ 此いちご沢ヨリ
桐沢マテ三十五町四十六間松本領高村ヨリい
ちご沢マテ十一町三十間此道出口高村ニ番
所アリ即高野茂兵衛コレヲ守ル高村ヨ

り松代領大岡村マテ二里二十八町九間 高井村ヨリ境目マテ十一町三十間堺目ヨリ大岡村ヘ二里十六町三十九間 是ヨリ
東同組上井堀村ヨリ 松代領ヘノ路二筋
アリ 一筋ハ足田小屋通リ松代領入相
山道ナリ 上井堀村ヨリ此所マテ一里四町 此路ハ高村ヨリモ
行又一筋ハ小渡切トユフ山ナリ 是モ同入
相山路ナリ 此東ニ大渡切トユフ山路アリ
右ニ小高瀬トユフ山アリ此道松代領中

牧村マテ上井堀村ヨリ二里十二町内 上井堀村ヨリじゆぶら峠堺目マテ二十二町じゆぶら峠ヨリ中牧村マテ一里十五丁
小高瀬ノ東ニいきれトユフ所山路アリ此北ハ
松代領ノ山林入雑レリ 惣方ノ百姓山論アリシモ此筋ナリ委クハ争論御裁許ノ部ニ見ユ
どゆ多ゝトユフモ此湯
ナリ鎌取場 論所ヨリ起レル号ニヤ 湯光坊此路境
目ニ土橋アリ馬塚トテ道ノ右ニアリ松代
領中原村ヘ市ノ川村ヨリ一里十六町四十三

間丹一ノ川ヨリ境目マテ二十八町四十三間境目土橋ヨリ中原村マテ二十四町此
方ノ道ヲ猿ヶ馬場ト云フ路ノ東ノ側ニ池
アリ池ノ南東ヘ分レ路アリ松代領八幡村
ヘ市ノ川村ヨリ一里二十三町四十八間丹市ノ川村ヨリ
小坂峠境目マテ二十三町四十八間コヽヨリ八幡マテ一里此邊ニ風越ト云所
アリ當国名所ノ一ツト云傳ヘタル共類多アレハイツレヲ正説ト定メ難シ猶別記ニ委ク載ル三ツ
峯ト云山モアリ火立場ノ右ニ路アリ永
井村ヨリ松代領八幡村ヘ二里十町十四間

丹永井村ヨリ風越峠ノ峯境目マテ一里九丁廿四間境目ヨリ八幡村ヘ一里五十間鷲岩上
長者ガ厩峯ノ路二筋ニ分レ左ハ永井村ヨ
リ八幡村ヘ二里二町二十一間丹永井村ヨリ鷲岩境目マテ一里一丁
三十一間境ヨリ八幡村マテ一里五十間セニ道ナリ右ハ物見岩ニテ別
レテ永井村ヨリ松代領羽尾村マテ一里三
十四町五十六間丹永井村ヨリこしきいし峠境目マテ一里二十六間境目ヨリ羽尾村迄三十四丁九間
冠着峯ノ右ニ道心ガ峯ナラベリ此右ニ路
アリ永井村ヨリはふし岩ヲ通リテ上ニ

テ二筋ニ別レ左ハ松代領山田村ヘ一里三十四
町三十二間 丹永井村ヨリ四十八曲リノ峯境マテ一里七町三十二間境目ヨリ山田マテ二十七町
右ノ路ハ松代領出浦村マテ二里二町十二間 丹永井村
ヨリ横藏峠境ステ一里十三町十二間境目ヨリ出浦マテ七丁五丁 此横倉ノ峯ヨ
リ西ハ松本領筑摩郡北ハ松代領更科
郡南ハ上田領小縣ナリかいつけノ峯東峯
通ノ路ちのこ越トモ云ニヤ 此路脇ニ雨池ト云アリ此道
安坂村ヨリ 上田領室賀村ヘ二里十間 丹安

坂ヨリ東峯ノ境マテ一里二十五町 此路ノ南ニ安
東峯境ヨリ室賀村マテ十一町十間
坂村ノ枝村横入 新田トモ云アリ 是ヨリぶどう
塚ト云所ヲ通ル路アリ 此右ニしどうら沢ト
云アリ 又しどうら平トモ云 安坂村ヨリ上田
領浦野町 又馬越村トモ云 マテ二里三十町十四間 丹安
坂ヨリぶどう塚境目マテ二里十四間
境ヨリ浦野マテ一里三十町 ぶどう峠
又ぶどう峠トモ 此所ノ路ハ巳午ノ方ヘ越スナリ
安坂村ヨリ上田領志ろうら村マテ二里三町

丹安坂ヨリかりじ峠境目マテ一里のすが峯
二十四丁境目ヨリちゝぶ村マテ十丁
麻績與會田組ノ界ナリ是ヨリ北西ヘ押
廻シテ川手マテ皆麻績組ナリ此組ノ内
郡境ニ接ラサル山川略下ニ記ス雁鳥歩場
トユフハのすが峯ノ西ナリ是ヨリ西ニあつま
山トユあり 北ハ麻績與南ハ會田組 あまめ山ノ北ニ皇山権
現あり 矢倉村ヨリ行ケリ 善道寺古寺ヲ此村ニアリ 又矢倉村ヨリ巳
ノ方ニ古城山あり 此外古城古屋敷ノ跡多シ都テ十九ヶ所古城記ニ見ユ

此邉ヨリ會田與戌亥ノ方ヘ出張レリ
菜関此所ハ下生坂ノ東ニテ高村ノ未申ノ方ナリ是ヨリ次ハ又川矢ノ南ヨリ載ル 田沢村
ノ辰巳ノ山ニとゝきあ神ノ祠アリ其邉
ヨリ出ル沢川アリ大口沢ト云村ノ北ニテ犀
川ヘ落ル光村マテノ間ニ高松沢いもの沢
ト云アリ亦東ノ山ニ古城跡アリ光村ニ
宗林寺長光寺アリ東ノ山ニ古城地アリ
塔原村ニ法音寺雲龍寺給然寺アリ

東ノ山ニ古城跡アリ明科村ノ南ニ龍門寺
トニアリ小谷古城村ノ東ノ山ナリ會田川
東ヨリ流テ犀川ヘ落ル水上ハ會田組ニ見ユ潮村此
村ノ東ニ潮沢村山中村大足村アリ此村々
東ノ山ニ佐峯ノ城笹ノ城跡アリ本沢ノ南
ニモ城跡アリ潮沢トニ云沢川モアリ上生野
村大池沢東ヨリ出テ犀川ヘ落ル小立野
村東ノ山ニ中ノ城トニ云城跡アリ高松沢

東ヨリ出テ犀川ヘ落ル下生野村東ノ山ニ大池ノ城猶
東ニモ古城アリ下生野ト上生坂ノ境ニ沢ア
リ東ノ山細尾留山ノ方ヨリ出テ犀川ヘ
落ル池沢トニ云上生坂村此所ハ松夲領なれと
ノ出ル地信濃生坂たはことて今ハ名物の
数ゝも入とかや就中殿村石原ナトニ云地ヲ勝
レリトス又照明寺トニ云寺アリ此寺地ヨリ
出ルたはこを能トス此近邊ノ村々ハ

田方少キ故タヽリナシなきことゝ作り他國へ高買
すゝめより上下生坂村の東山ゝ小屋城と
て古城跡あり日岐の大城ハ下生坂東山
ニあり物見岩とていふ大なるやゝゆ
岩あると云所ニあり 潮沢小立野上生坂下生坂四ケ所ニ竹藪アリ守護手前藪
下生坂より眠峠を越野原沢ノ川 此川下尾峠ノ瀬ロノコトハ前ニ見ユ
を渡り下生坂の内桐山と云枝村
アリ是より松代領切沢村トノ大境 前ニ見ヘ

野原沢ハ會田組仁熊竹場 タルかんのき峠下ナリ
一東西ノ山々又麻績與湯光坊ノ方山々
ヨリ出ル沢々落合テ込地村ノ南ヨリ子
持石ノ上ニテ犀川へ落ルナリ 又込地川ト云是ノ川ナリ
込地山ハ此川ヨリ南ニテ仁熊山ノ西ナリ
此込地山手前林留メ山ニテ雑木多シ古
ハ鷹モ出タリ 上生野ノ方ヨリ東ニ鷹
出場ト云所モアリ是ヨリ北山 續キナリ

一麻績町村ハ善光寺松代等ヘノ往還ナリ
此所出口ニ番所アリ口之番所ノコトハ別記ニアリ是ヨリ
市ノ川村ヨ通リ猿ケ馬場峠ナリ委前見ユ
法善寺御朱印アリ光明寺ナトト云寺院アリ
麻績式部大輔居城ノ跡町ヨリ亥ノ方
ノ山城ナリ猶寺社古城等ノ委細ハ別記ニアリ
一市野川村北ニ手前林アリ麻績町ヨリ
道アリ

一會田組青梛村ヨリ麻績與下井堀村
マテ二十六町四十六間此ノ往還ニ切石ト云
アリ又道ノ東ニ小切石ト云アリ是ヨ切通
シト云青梛町ヨリ小切石マテ五町五十
二間小切石ヨリ下井堀マテ二十丁五十
四間

會田組

一麻績組界あつま山の東鷹打場前ニ見ユ此ヨリ南會田山ニ小谷場上平十ト云所アリ猶南ノ路東條村ヨリ同枝村大沢新田通リ峠ヲ越上田領田沢村マテ三里五町

但東条ヨリ本峠境マテ一里十町余
本峠境ヨリ田沢マテ一里三十町余

東條村出口ニ番所アリ又大沢新田ヨリほしを大境ヘ行路三十町是ハ相吉新田ヨリノ

道ト堺目ニテ出合フナリ大沢新田ヨリ相
吉新田ヘ行路ヲ細越ト云此邊ニ天狗岩
ト云アリ 相吉新田ヨリ寅卯ノ方ヘ行路
上田領田沢村ヘ二里八町四十七間 毋相吉ヨりはしと
境マテ三十五丁十七間 田沢マテ一里九丁三十間 堺目ヨリ此相吉ハ横川
村ノ枝村ナリ横川村出口ニ番所アリ此
横川ハ東ノ山相吉ノ方又善入寺ノ方ヨリ
出ル沢々ナリ 竹藪アリ 横川村ノ南西ニ矢 此南ニ矢久村

東ノ山ニ大瀧アリ 高三十丈 其側ニ天狗岩
屛風岩ナトヽ云フ大岩アリ此瀧ノ下矢
久村召田村ヲ流レテ横川ト一ツニナリ
西ヘ流ル 月沢川落合テ會田川是ナリ くせち山此左ニ
勢子路アリ くせちよハ元まくけ路山ト云フ 此勢子道保福寺ノ番所ヲ避
テ通レ行者此所ヲ越ルカ故ニ時トシテ保福寺
ヨリ廻リ欣ル道ナリ當国ノ郷談ニ逃行者
ヲタケ行ト稱スルカ故此山路ノ号モ其義ナ
リ然ルニ元禄ノ繪圖ノ時ヨリくせち山ト記
シ來レリ 又たノがんくゝ沢ハ葡萄沢ト云ヒ誤レリ
峯ヨリ上田領

市ノ沢村ヘ二十六町五十間ふせち山ノ
南保福寺峠マテノ間ニハぬう山ふせち
沢あんどう沢高人沢鞍骨沢山ナト云
アリ保福寺町ハ松本ヨリ江戸ヘ往来
人路ナリ故ニ道程記ニ見ユ但保福寺町ヨリ峠境マテ一里十六丁五十八間塚ヨリ上田領奈良本マテ一里二十八町二間又坂木領丹村マテ三里二十六丁三十間丹峠塚分レ路ヨリ丹村マテ二里九丁三十二間町ノ南ニカキア
ケ城ノ跡アリ町ノ出口ニ番所アリ町

外ニ保福寺ト云禅院アリ道ヨリ南ニ月
沢山ト云アリ昔ハ鷹巣山故留山ナリシヲ久シク鷹ノ巣モタヘケルニ依テ炭釜ヲ願運上ニテ炭ヲ焼出ス所ニ元禄二巳年鈆山領四ケ村ヨリ願ニヨリテ入合トナリ炭釜止ス
とやか峯ヨリ沢通リ峯ツタヒおしが沢
是保福寺町頭ヘツヽキテとやか峯ハ高
キ山ナリ稲倉山トノ境ナリ大かいト云フ
山アリ月沢山ノ内ニテ保福寺分ノ大山
ナリ但シ草木ハ入合鈆山領ノ山境南ハ丸山

峯ヨリ尾根通保福寺町裏ノ城山
マテ北ハ大野田入舟久保峯ヨリ尾根
通リ穴ノ沢峯北平保福寺町分林マテ
境目ナリ鉛山領ノ村々ハ金山赤ぬた
又町殿ノ入古瀬赤奴田ノ内此ノ分正徳三巳年
水野肥前守知行所トナル委細別記載ル故ニ略ス
但シ四ケ村入合テ七百拾六石五斗一升二
合ノ所ナリシ鉛山ヘ此村々ヲ付ラレシコ

トハ鉛山ヘ人歩入ルカ故保福寺苅屋原
ハ驛路ノ宿場ニテ此鉛山入用ノ人足出
スコト成難旨訴ルニ依テ後ニ右四ケ村ヲ附ラ
レケルコトハ下ニ見ユ此金山始リハ石川玄蕃
頭松本領守ノ時慶長年中保福寺ヲ
シカ澤ニ鉛山ヲ見出セリ然レトモ鉛ノ吹
分ケヤウヲ知ラズ其頃甲州浪人丹利藤
丹ガ子弥右衛門監（塩）尻ノ邊ニ居住ス其

家来庄八ト云ノ者カ子ノ吹ヤウヲ知ル由ヲ
聞テ彼井利ヲ保福寺ヘ招キ寄セ居ラシメテノ
鉛ヲホルコト十ケ年ハカリハ守護ヘ達スル程ニテ
モナキガ故ニ内證ニテホラセケル其後井利今ノ金
山村ヘ越テ住セリ元和元乙卯年小笠原兵部
太輔秀政松本城主ノ時保福寺町ノ下
南ノ九山澤ノ下行人平ト云處ニ能カナ山ヲ
見出シ鉛出ル此節ハ大坂御歸陣ノ砌故

井利弥右衛門鉄炮玉ヲ鑄テ山城ノ國
伏見マテ持参シテ小笠原右近太夫忠政
ヘ献シテカナ山ノコトヲ注進ス即公義ヘ
言上ノ所ニ御嘉運ノ山ナレバトテ公義ヘ
差上ヘキ由命セラレテ御金山トナルニ依テ
翌元和二丙辰年検使トシテ徳山五兵衛佐
渡ヨリ至リ江戸ヘ歸ル此時御代官
井上新左衛門支配トシテ八年ノ内日々堀

出ス鉛半分上納残テ半分金堀ノ元メニ
下サル是荷ヘ分ケトテ佐渡ノ國御金山ノ
法例ナリトカヤ元和三年小笠原忠政播
州明石ヘ得替ノ砌殿入村ヨリ七嵐村マテ
御蔵入ト成ルヘキノ所ニ七嵐村ハ松本ヨリ
保福寺通リ江戸往来ノ路ナル故馬次ノ
助郷ノ由保福寺町ヨリ願フニ依テ殿入
村赤奴田村夊町村三所高五百石御代

官所トシテ是ヲ御金山料ト云フ金山村ハ
高ナシニテ鉛ヲ上納セリ（井上新左衛門ハ元和二年ヨリ同九癸亥年マテ支配ナリ）
御金山寛永元甲子年ヨリ御代官
高田小次郎（同二丙寅年マテ支配）此時鉛山悪敷ナレニ
依テ運上鉛二十八貫目ニ定リ上納ス寛永
四丁卯年御代官乙畑半右衛門支配運上
鉛右ニ同シ同五戊辰年御代官設楽長兵衛
近山五兵衛支配トナリ翌己巳年殿入赤奴

田又町ハ竿入テ高七百石餘ニナル金山村ハ
前ノ加リ運上鉛二十八貫目上納ナリ寛永
八辛未年能キ山ヲ見出シテ鉛出ルニ依テ運
上ハ鉛増テ七百貫目ニナル同九壬申年ハ又増
テ三千二百貫目ニナル同十癸酉年又増テ四
千貫目ニ成リ同十一甲戌年ハ山色悪ク運上
鉛三千五百貫目上納ス同十二乙亥年ハ彌山
悪ク鉛出サル故前々ノ通リ運上二十八

貫目ニナル　設楽長兵衛　近山五兵衛　両人支配寛永十五年マテ勤ル　堀田加
賀守正盛松本城主御蒙リ翌寛永十
六己卯年御金山料預リニ成リテ御代官止メ
此時モ運上鉛二十八貫目ナリ同十九壬午年
水野隼人正忠清公領主ノ時モ相續キ預
リニテ運上ハ鉛同前　但シ物成ハ年々公義ヘ収納口米ハ會田組支
配ノ代官役ノ者ヘ取ラセ遣ス　忠職公ノ時鉛少モ出サ
ルニ依テ屋敷跡山畑年貢ヲ定運上鉛

二十八貫目ノ代トシテ金子一両ツヽ上納ノ筈ニ
言上明暦元乙未年ヨリ延宝元癸丑年マテ
十九ケ年ノ中金子一両ノヽ上納ナリ忠直
公ノ時延宝二甲寅年四月金山村ヘ竿入テ高
七石一斗七升一合ニ定リ運上鉛代ハ止ス
其後元禄二己巳年御金山料御代官所ト
ナリ太田作之進支配ニ御付ケルニ付手
代浅井吉右衛門小林喜太夫ヲ差越同

年ノ七月二十四日赤奴田村角兵衛宅ニ於テ帳
面等引渡ス此年彼四ケ村願出テ月沢山入合トナリ炭釜止ス太田
作之進支配十年ニシテ元禄十二己卯年六
月御代官替リ高谷太兵衛正徳二壬辰年
マテ十四ケ年支配同癸巳年八月御代官替リ
平岡三郎左衛門支配トナリ同年十月十
六日水野肥前守知行所ノ内ニ下サル
一 七嵐村ヨリ此方ニ稲倉峠山ハ壹岐守領

一大合地境ハ白とり山ナリ七嵐村山ニ古城二ヶ所別記ニ見エ
又長命寺トユフ寺アリ稲倉村ハ岡田組ナリ七
嵐村ヨリ一里二十六間内七嵐ヨリ峠ノ峯マテ二
十丁二十九間峠ヨリ稲倉村苅谷原町村
マテ十五丁五十七間
七嵐ヨリ西ノ方鷹住根ノ古城別記ニ ヨリ南岡
アリ亦洞光寺ト云真言宗ノ寺アリ
田町村へ峠アリ苅谷原峠トユフ あく坂ト云モ
是ナリあく
坂ノ西ニうとろ山アリ又
猿飛石トテ大岩アリ苅谷原ヨリ岡田へ
一里十八町三十一間 内峠ノ峯マテ十八丁二十三間
峯ヨリ岡田へ一里八間 此
道松代領へ往還故所々ニ記ストイヘトモ

又此ニモ載ル岡田與あく坂ヨリ松代領ト
ノ境目湯光坊五橋マテ七里十町四十一間
苅谷原ヨリ西ハ麻績組川手ノ田沢ノ方
ナリ其中程北ニ執田光村ト云所ノ山ニ矢
篦竹藪アリ又苅谷原ヨリ北へ往還ノ金
山料 壹岐守領ナリ 又町ノ東北ヨリ月沢川流ル橋アリ
横川ハ東ヨリ流ル橋アリ此二ツノ川橋ノ
下ニテ落合是ヲ會田川トユフ 水上並川下ハ前ニ見エ

會田町 是ヨリ巳ノ方ニ虚空蔵山ノ古城アリ 又會田町ヨリ亥ノ方ニ両ヤノ古城又
小岩井村ニ中野陳古城又西ノ宮ニモ古城
猶所々ニ古城多シ別記ニ委リ見ユ 會田
町ヨリ北乱レ橋マテ一里九町十九間 此間ニ峠アリ
俗ニ立峠ト称ス
嶮キ峠ナリ 古乱橋村ノ東ノ山ヨリ毎年
六月朔日氷ヲ領主ヘ上ル 小キ洞ニ寒中ヨリ
雪水ヲ、ユテ夏マテ
アリ 此上ニ氷明神トテ小キ祠ヲ立テ 古乱橋
タリ 當国ニテ氷室ノ例ニ准ルナルヘシ
村ヨリ辰巳ノ方原山村ト云所ヘ行路ヲ
風越峠ト云フ此峠路ノ左ニ布引岩ト云
アリ同右ニゑやかつ岩ト云アリ 所ニテハ當国
名所ノ風越
是ナリトイヘトモ
正説トシガタシ 中村ト云所ニ碩水寺ト
テ御朱印アル寺アリ 此外寺院神社等ハ
別記ニ載ルカ故ニ略ス

一 北山ノ西篭ノ城峯是麻績組界ナリ古
城記麻績與ノ所ニ記ス是ヨリ南ニ急不
丨形ト云所執田光村分ニナリ此所麻績
與境

一　岡田組

一　松本城安原町ヨリ北ヘ出テ往還ノ西
北邊サイカチ原ノ南ニ庄内組堺アリ下岡田ノ分ノ山アリ麓ニ
大門池神沢堤下岡田分ナリ此地庄内組堺ナリ鹽倉ノ堤二ツアリ
とや峯麓ニ田溝ノ堤中ノ堤矢作ノ堤トテ三ケ所
アリ井深村分ノ山ニ長峯ト云アリ此右ノ
路ニ三ツ石トテアリ麻績組田沢ヘ出ル
山路ナリ是等ノ山裏ハ川手道ナリ

是ヨリ東ハ北ノ境ノ山ニ猿ケ尾湯ノ股赤
渋沢舟ケ沢ナトヽ云アリ此南ニ安戸堤二ツ
アリ井深村ニ慶光寺ト云曹洞宗ノ寺
アリ此山ニ古城跡アリ井深村ヨリ北ヘ
越ス道ぬまより二筋ニ別レ左ハ駒飼峠
鞦子路ナリ 右ハ仏坂 是岡田ヨリ荊谷原ヘノ往還ナリ 此路ノ右ニ
中むさみ堤二ツアリ是ヨリ東ニ稲倉峠
往還ナリ 路ノ右ニてゝ西岩トテ大石アリ 此岩ニ物音ノ響アリ

大崩レト云ヽ此峠ナリ 道程ハ前會田組七嵐村ノ所ニ見ユ 又東ニ
御射山 又ニオ山トモ 虚空蔵アリ ヨリ金山領ヘ出ル山路
アリもちか坂ト云萩ノ沢ところめ屏風
岩ナトヽ云モ此辺所ナリ猶東ヘツヽク山々
石ひろ〳〵し太平沢ぬま大むさ壬寅
ノ隅ニ坂木領内村ヘ出ル山路ヲ窓ト云フ
山合ノ明タル所ナリ 御射山ヨリ此窓ノ峯マテ一里
三十三町東ヘ押廻シテ白岩ト云山遊となる

大ヶ平板取木場ナト云山々何レモ峯通
小県郡境ナリ渋さわノ西ノ方前山
ノ峯ニ烏帽子岩ト云アリ 其形ノ似タル故ニ名トス遠方ヨリ能見ユ
此西ニ高ノ尾ト云山アリ 是等ハ郡堺ニハアラス園田組ノ中ナリ
板取木場山ヲ越シテ内村領ヘ出ル路アリ
又此南ニモ山路アリ是モ同所ヘ出ルナリ
此峯マテ三文山ヨリ二里二十四町 是ヨリ東ノ山
裏ハ上田領ナリ 此所ヨリ南ハ山家與ニ記ス

一 水汲川ハ東ノ山板取木場ニ大ヶ平烏帽子
岩ノ邉ヨリ落ル沢々ナリ此烏帽子岩ノ方
ヨリ出ル川ヲ不動瀧ト云是ヨリ西ニ中ノ
沢入地獄沢 此二ツハ南ノ方ヨリ出ル 木沢瀧ノ入淀ノ入
是等ハ北ヨリ出ル 又あめの田ノ堤ノ落口或ハ三文山
虚空蔵ノ邉ヨリ落ル小川北洞村ノ近
所ニすまんくり窪田ナト云 小池ノ流レ等
モ落合又稲倉井深園田村等ヨリノ小

堰谷水皆此川ヘ落（古ハ常ニ水アル川ナレモ近年時トシテ涸水ス山々木立少クナリタル）故此川松本東川原ヘ出（ヤト云云）テめとこ川トモ云フナリ水汲橋アリ（此橋ハ浅間路ナリ手前橋）同所ニ瓦作リ場小屋アリ

同瓦釜アリ（此所ニテ手前細工人合羽等ヲモ拵ル）是ヨリ寅ノ方浅間村ニ温泉多シ昔犬飼氏ノ久シク領セル地ナリシ故文是ヲ犬飼ノ御湯ト称ス（或ハ犬養良トモアリ委細安曇郡境成相與ノ所又舊俗傳ニ見ユ温泉ノ古歌ハ名所記ニアリ）

湯ノ沸出ル所々ハ山ノ下ノ湯臼湯（是昔ヨリ湯ノ中ニ臼アル故ニ号ス此ニツハ茶屋庭ニアリ）堀ノ湯薬師ノ湯新湯（是等ハ茶屋近所ナリ）又村ノ西ケ輪ニ柳ノ湯ト云フアリ（家中ノ諸士入湯小屋アリ）其脇ニ小柳ト云フアリ（是ハ所ノ者持分ナリ）村ノ南ニテ東ケ輪ニアラ湯ト云フアリ惣ニテノ入込ノ湯場モアリ又所ノ者屋敷内ニモ望ミ次第入湯所ヲシツラヒ置ケリ茶屋ハ城主ノ入湯所ナリ（古ヨリアリ来ル何レノ時建始レルニヤ知レル者ナシ湯守小口治菴代々勤ルナリ）此処ニ小笠原

校

家ノ霊屋アリ 貞慶秀政忠脩三人ノ位牌アリ 昔ハ大隆寺トテ菩
提所此霊屋ノ邉ニアリシカ右近太夫忠政播
州明石ヘ得替ノ時従ヒ往キテ今ハ寺跡残
ラス 右ノ霊屋破壊スル時ハ郷中ニテ修覆ス元禄年中修覆アリシ後忠直公畫工ニ命シテ舊キニ依テ彩色ヲ加ヘサセラレ且ツ山林少シ寄附アリテ同所神宮寺ヘ預ケラル 此霊屋古ハ栫茸ナリシカ享保九年神宮寺預トシテ郷民修覆シ来カランカタメ 享保十五年ヨリ
神宮寺 今ハ臨済宗ニテ 妙心寺直末ナリ 境内山ノ半腹ニ薬師
堂アリ 今ノ堂ハ延宝年中青陽院殿ノ願ニ依テ再營アリシナリ 小笠原氏ノ家士大坂表ニテ討死セシ七人ノ石塔霊屋ノ邉ニアリシカ今ハ神宮寺内ニ移セリ 今ノ霊屋ノ側ニアル小キ五輪

一 此組ニ古城ノ跡ハ浅間ニ二ケ所 摂屋入山 茶臼山 洞村
皆古城記ニ見ユ 井深村 古城 三才山 古城 稲倉山 古城

一 女鳥羽ハ浅間村ヨリ南ナリ此山ニ冷水ノ
瀧アリ忠職公此地ヲ見立テ女鳥羽ト
名付ラレ當家ノ廟所トスヘキ志アリシ故
忠職公卒後寛文九年忠直公其志ヲ継テ

真珠院殿道樹院殿ノ五輪及石ノ鳥居ヲ
建ラル此地ニ昔ヨリ道心者ノ住セシ菴室
アリシヲ請ヒ取テ廟所守ノ僧ヲ置キ
上昌山玄向寺ト稱セラル是即忠職公ノ法名故ナリ此山ノ
半腹ニ觀音堂アリ元禄八乙亥年四月
忠直公ノ草創ナリ圓通閣ノ額ハ慧光
院四世江堂ノ筆ナリ觀音堂建立ノ開
眼供養ハ則江堂ヲ導師トス當山ハ菩
提所ニ屬スト云ヘトモ春乃寺ハ城主所
替ノ時ニ隨ヒ行ク寺ナル故ニ後世ニテノ爲
觀音ヲハ慧光院ヲ導師トセラル然レトモ
所由アリテ元禄九丙子年十二月觀音ヲ
春乃寺ニ附セラレ玄向寺ヲ增上寺末寺ト
定メラル供養ノ時江堂ヨリ石燈籠二基
ヲ寄進セラル其外家中諸士ノ中ニモ繪
馬等ヲ獻セシモアリシナリ堂ノ前ニ舞臺

アリ二王門ノ額ハ上昌山トアリ佐々木
玄龍ノ筆ナリコレヨリ観音堂マテ四町
程アリ此路ニ六ノ地蔵アリ又谷間ニ長三間
ノ板橋アリ
観音堂ノ向ヒニ冨士権現ノ小社並鳥居アリ
瀧口樋二ツアリ石ノ手水鉢アリ
石ノ鳥居ヨリ石階ヲ登リテ石ノ玉垣アリ
代々ノ宝塔西向キニ立テアリ其前ニ石燈
籠二基アリ鳥居石燈籠共ニ寛文九
己酉年六月二十六日春乃寺圓道代ト刻ミ
記セリ
同所北ノ方　忠直公ノ實母日昇仙院殿
長譽映月妙光大姉ノ石塔並　忠直公
ノ庶子ノ中早世ノ石塔アリ

山家與

一東ノ方岡田山ニ續キテまかりと峯うにしらか原ト云あり此原ハ山ノ上ノ平ラニテ凡二三里ニ及ヘリ是ヨリ冨士山其外近國ノ大山皆見ユ此南ニ丹ガ沢とての峯此山裏ハ小縣郡武石境ナリ是ヨリ南ハ和田境ナリ　兩所ヘノ山路ハ道程記武石通ノ所ニ見ユ　志いりの坂ニ茶臼山鉢石此鉢石ニ道アリ和田ノ内梶

足ヘ出ル此境マデ松本東門ヨリ四里ニ
十二丁余猶南ニ本澤朱澤大たきあこ
あかつ沢ひろ澤此等奥ノ峯通和田
界ナリ是ヨリ南ハ諏訪郡堺横山ト云フ
アリ又八峯瀬ト云フ山当郡東ニテ辰巳ノ大山ナリ
隅ナリ前ハ峯瀬又南ノ方大たご入南へ
諏訪領五千石境ナリ此所ニ塩原へ出ル
一道アリ大佛入一ノ沢熊倉平大ぶし入

芝山千鹿頭山マデ峯通領堺ナリ
千鹿頭山峯ヨリ北ニうらニ山松本領ナリ此
攀ニ愛深川ト云フ小キ流レアリ所ニテハ名所ノ中ト云ヒ
傳ヘタリうらこ山ハふじミ山ヲ云モ誤マレルモノ
ナラント云フ説アリ慥ナラサルコトナリ
八峯瀬ノ此方ハ中入分ニテわさひ沢白山
白山澤大たご澤市ノ澤又大菱入ハ薄町
分ナリ北入分宮原ノ舟付此舟付古へ潮水ノ時ノ名ナリ舟ヲ
ツナキシ石モアリ此邊ニ南方ニ古城アリ
小キ薬師堂アリ
かごの島アリ此所林村ニ慈眼寺ト云フ真言宗ノ寺
山号ヲ金華山ト云かこのたふしの

古ヘカ子ノハナヲヲ云ヒ誤ルノヨシ云ヒ傳フ
林村ハ古ヘ小笠原氏
領主ノ時居住ノ地ナリ城跡舘ノ跡モア
リ是ヲ林ノ大城小城トテ二ケ所共ニ高山
ナリ近所ニ橋倉大嵩崎ナトヽ云フ村アリ
廣沢寺トテ小笠原家ノ菩提所曹洞宗ノ寺アリ
近年御朱印ニナル妻ハ中入村山桐原村
寺院ノ類ニ見ユ
山ニモ城跡アリ何レモ小笠原家ヨリ持
テル城々ナリ
古城記ニ載ス

一 薄川東ヨリ西ヘ流ル水上ハ横山澤ナリ
又一筋ハ北ノ方茶臼山だいが坂ノ邉ヨ
リ出ル舟が沢本沢朱沢わ沢又さび沢
一 白山澤一ノ沢海岸寺沢ナト皆此川ヘ落ル
川下ハ松本馬喰町ハ南ヲ流レテ田川ト
落合庄内組宮渕ノ邉ニテノ木曽川ヘ
落ル又此川ノ橋ハ既所橋中入ハ刀既所
アリ長六間三尺中入村ヨリ南ノ路ヘ一橋是ヲ

よさとぎ橋ト云フ長六間二尺是杣人東山ニ入ル時
ココニテヨキヲトリ故ノ号ナリトカヤ
此橋北ノ路ヨリ南ヘ渡リ南東ノ山ニ
至ル船付橋長六間二尺是ヨリ川下ニかとの
島ヘ行路ニ一橋是ヨリハ龍橋ト云フ長七間二尺
此下ニテ神田堰分ル
一山家ノ温泉湯ノ原村ニアリ古歌ニ見ヘ
タル白糸ノ湯トハ是ナリ 證歌ハ名所歌寄ニ見ユ 筑
摩ノ御湯ト云フモ是ナリトカヤ

一猶此與ノ丹山或ハ澤川等ハ大平ウやのハ
茶臼山ノ前ナリ大門沢ハ志いウ坂ノ路筋ニアリ
其西ニ王ガ鼻ト云山ノ南ノ澤ヲ菖蒲沢ト云
同北ニ筒井入亦北入ヨリ岡田山ノ方ヘ行ク路
追倉入芝山ノ上ヨ通ル此東ニ岩下ト云山ア
リ其東北ましかうと沢ニテ大村ヨリノ道ト出
合フ是岡田與大村ヨリノ道筋岡田山家
ノ與ノ境ナリましかうとの北ニ新枕アリ此

所ヘ三文山ヨリノ道の川こむナド云フ所ヲ通リテ出合ヒ御茶屋場通リ小縣郡内村ヘ行ナリ

一 湯ノ原ノ東ニ藤井入湯ノ原ヘ此道前ニ見ヘタル岡田山家與境ノ路ナリ姥ガ懐是ヨリ岡田組女鳥羽山ナリ 又薄川ノ分カレ舟付橋ノ上ヨリ桐原上金井荒井下金井ノ邊ヲ流ル

一 海岸寺澤追ノ倉澤ナド落合フナリ川下ハ清水ニテめとりゞし川ヘ落ル

出川組

一 出川町村ハ松本城下馬喰町南ノ出口ヨリ田川ノ橋ヲ越テ程近シ 此橋ノ出川ノ橋ト云フ長十七間幅二間二尺 掛直シノ節ハ人足松本町ヨリ出ス橋下両詰川除ハ南ハ出川組人足ヲ出ス北ハ庄内組人足ヲ出ス此橋松平出羽守領主ノ時所以アリテ本町ノ問屋倉品七郎左衛門課役トシテ掛タリト云フ其後ハ守護ヨリ諸木釘金物大工等マテ出シテ普請ス

一 出川町ヲ出テ右ニ差矢場アリ 東西三十間 南北百十間 寛文十二子年ヨリ延宝四辰ノ年マテニ出来ナリ三方ニ土手ヲツキ松ノ並木ヲ植ル 出川

ヨリ鹽尻木山等ノ往還ハ道程記ニ見ユ
一田川水上ハ鹽尻與ニ見ユ南ヨリ流レ馬喰
町ノ西ニテ薄川ヘ落合前ニ見ユ此川ノ東ニ並
柳村ト云フ一村松本領ナリ此外神田村
此邊ヨリ桑瓜出ル真ヨリ諏訪領五千石都而
村數十七入交リテ此郡ニアリ神田竹
一淵瀬黒上下二村百瀬白川白姫和泉垣原南
内田北内田小池上赤木下赤木南

熊野井北北熊野井中捽此村々ナリ
是ヨリ南ハ鹽尻組荷直シ入リ道ヲ引下
シ桟敷村長畝村堀ノ内村ト並ヘリ但シ瀬黒百瀬白川
等ノ東ノ山ハ松本領諏訪領並ベリ北ハ松本
領中山出川與ノ山ナリ此南ニガケアリ諏訪
領トノ堺ナリ故ニ境ノ
タケト云ナラハセリ又神田村ハ是ヨリ
北ヘ入込テ庄内組ニモ村ヘ隣レリ
一木曽川水上ハ木曽ノ所ニ委ク見ユ鹽尻組ヨリ當與ハマテ
南ヨリ北ヘ流ル此川ノ西ニ梶海渡村正山寺

二子村慶林寺觀光寺古ハ長福寺寺家村

一福應寺下神林村長久寺神戸村長

松寺ナト云フ寺院アリ宗旨等ハ寺社ノ部ニ見ユ是等ノ

村々ノ西ニ五千石トテ御代官所アリ是レハ筑摩郡ノ内ヨリ諏訪高遠ヘ五千石ツヽ分ラレシ時ノ高遠分西五千石ナリ然ルニ高遠検地ノ節北所ノ高増シテ御料トナル此御代官ハ會田組金山料支配人頭リナリシ所ナリ其村分等ハ左ニアリ正德三年水野肥前守知行地

方配分渡サレシ時和田十九ケ村ノ内四千

三百石鈆山分七百石合テ五千石此村大池小坂竹田衣

下今井南和田御料分郷岩垂ト高遠領分郷メ七ケ村

一御領高二千六十石程此村數境村和

田町中村下和田荒井殿村南和田

壹岐守分郷メ七ケ村高遠領ハ古見針尾

一小野沢小曾部西洗馬本洗馬岩垂

壹岐守分郷都テ七ケ村長瀬ト云村ハ枝村

ニヤ國繪圖ニ見ヘズ是ハ南ニテ本山ノ西

ノ方ナリ
一小曽部川水上西ノ山ヨリ出テ木曽川
ヘ落ル右ハ川水上吉見山ヨリ出北ヘ
流レテ二子村ノ北ニテ木曽川ヘ落
一當與次柳村ニ堤三ツアリ内一ツハ雨池トテ
自然池ナリ

一鹽尻町 中仙道ナリ委ク道程記ニ見ユ 町ノ東出口ニ番所

アリ 定番吉江助右衛門改等ノ委細別ニアリ 鹽尻町ニ永福寺

トヱフ真言宗ノ寺アリ 古ハ長福寺トヱフ近年永ノ字ニ改

此寺昔木曽氏ノ菩提所ナリ 委ク別ニアリ

柿沢ノ東北ノ方ニ阿禮大明神ノ祠立

柿沢ヨリ峠ヘカヽル往還ノ左ニ餓鬼山

トテ小キ丸山アリ 鹽尻峠ハ古甲州武

田信玄ト小笠原長時合戦アリシ所ナリ

委ハ甲陽峠下ノ北ニいノ字山ト云アリ
軍鑑ニ見エ所以アル名ニヤ知ラス其東ヨリ松井沢出ル峠ニ
浅間ノ宮アリ是松本ト諏訪領ノ大境
ナリ諏訪ノ方ニテハ四ツ谷峠ト松ノ峠
ヨリ往還ノ北ヘ別レ路アリカツツル山ふこ
うけ道トテらけ道此道ヲ夜盗道ト云フ鹽尻ノ番所ヲ除キテ
穀物鹽等ヲ夜中ヒソカニ付通ル故ナリ是ニ依
テ石留番人ヲ出スノ節ハ此路ヲ夜廻リスル
ナリ此所ニテ松本ヨリ鹽尻番所ニ出シ置穀
留番人ト諏訪領ノ百姓争論ノコトアリシ

委細別記ニ見エヽ四沢山かつ鶴山ナト百姓争論モアリ山路アリ
諏訪領ノ中挟南方等ヘ出ル往還ノ左ニ
駒ほらさかつほら山池ノ平長者屋敷
すり沢天狗木ナト云アリ此山々ノ西ニ
一鹽尻町番所ノ外ヨリ別レ路南ノ方小
野通伊奈郡ヘノ路アリ是三河ノ国ヘノ往還ナリ
北小野マテ鹽尻ヨリ一里二十八町此所ニ小野大明神
ノ宮アリ當郡ノ大社ナリ此宮地ノ森

ノ中ニ南小野分ノ矢彦大明神ノ宮アリ小キ土手ヲ界トシテ両社並ヒ立リ小野大明神ノ縁起外ニ神社ノ記ニ載ル

一小野村ノ枝村 南ニ大出東南ニ上田東北ニ武ヘ新田北西ニ新町ト云フアリ 南小野ハ伊奈郡ニテ御代官所ナリ枝村古休所下飯沼飯沼ニ 此所千村平右衛門御代官所田屋アリ 山口ナト云村々アリ何モ西ノ方ナリ是等ノ村ヲ通リテ西ヘ路アリ本山ノ南日

出塩ト桜沢ノ橋ノ間ニテ木曽海道ヘ出ルナリ上田ノ辰巳ノ山裏三郡ノ境ナリ 東ハ諏訪南ハ伊奈北西ハ松本領ナリ 北南小野村家居並雑リテアリ此邊ノ山々ヨリ出ル沢々ハ南ヘ流レテ天龍川ヘ落ル北小野分ノ山東ノ方ニ曲坂峠 諏訪ヘ越ス山路ナリ天狗本ノ南 の木窪(クホ)ゆやし沢鷹ノ巣山火山峠とち 此西ニ明松山祢ノ神是等ハ上田ノ東ナリ又柳料同南ニ南小野分ノ山ニモ明松山ト云同名ノ所アリ此路モ曲坂

峠ヘ先ニテ行合フナリ此東ニにり沢山又北小野村ノ
北東ノ山ニ御財山虚空蔵立ツ鹽尻町ヨリ
く道ニ、うとふ山峠アリかりや沢橋ヲ渡
リテ新町ヲ北小野ノ枝村通リ明神ノ森或ハ
北小野村ヘモ行ナリ小野山ノ中ニ古城跡
三ケ所アリ西ノ方ニかり敷山北小野分ナリ楢西
切戸屋山上ノ山ナトヽ云アリ駒沢御柱山
此南ニ神光寺ト云寺アリ此邊ヨリ南ハ

伊奈郡ナリ飯沼山此所雙方百姓争論御
裁許アリシ地ナリ大栗沢ヨリ北飯沼山ノ
西遙川なまと云所まて北小野ヨリ毎日馬二十
匹ツヽ入合フナリ柏木立ノ山あらし沢牛首峠
遙つかふ坏云山々アリ路ヨリ南飯沼分
前山曲尾ヨリぬまて沢マテノ内北小野ヨリ
馬二十匹ツヽ毎日入合ノ山ナリ大入道牛
首沢しくく大らさわやぬまて沢是ノ沢より西ハ

木曽中山ナリ此所伊奈郡筑摩郡ノ堺
ナリ又郡境北ハ松本領亀川まゝ沢まき
沢まき平此邊ノ沢ハ南北ヨリ出ル共ニ
西へ流レテ木曽川へ落ル此西ニ夲山町ヨリ
日出鹽櫻沢ノ橋木曽界ナリ夲山町
南ノ出口ニ番所アリ金沢関沢瀧沢何モ
東ノ山ヨリ出テ西へ流レ木曽川へ落ル
此沢々ハ夲山ヨ
櫻沢マテノ間ニアリ
又夲山ヨリ北へ洗馬町

村マテノ間ニ小沢山宮沢何モ東ノ山ヨリ西
へ流レ木曽川へ落ル右小沢関沢金ノ沢小
水沢共往還ニ橋アリ何モ城主ヨリ掛ケ
一 ラル又洗馬町ニ茶屋アリ別記ニ見ユ此ヨリ日
一 出鹽マテノ東ニアル寺社等別ニ記ス夲
一 山ノ西木曽川ノ向フ南ニ堺ノ沢ト云アリ
一 此南ハ木曽ニテ尾張殿領地ナリ夲山
一 分ノかゞりの田山中ノ千山アリ小水沢ノ北

ヨリ高遠領ニテ長瀬ト云抜村アリ此所
ヨリ木曽川ノ中央松本高遠領堺太手洗馬ヘ
越ス也橋ノ南マテニテ是ヨリ東ヘ高
遠領入込太田村一ツアリ往還ノ東ニ分
杭アリ此杭ヨリ西川向ニ松本領ノ地出
張トリ即塩尻組今村芝宮新田小俣
村等ナリ右領堺岩垂村ハ高遠ト水野壹岐守分郷
是ヨリ西北ハ出川組ノ所ニ見ヘタリ

揩

西南ノ方ハ松本領嶋立組ナリ　上ニ見エ

當與堤池

一 楡澤ト塩尻町トノ間北ノ方ニ一ケ所　是ハ塩尻町分
一 中条村ノ東ニ一ケ所　御手洗ナリ
一 平出村ノ南ニ一ケ所
一 同村ノ南西ニ一ケ所
一 床尾村ノ西ニ一ケ所
一 野村ノ西ニ一ケ所
一 吉田村ト野村ノ西ニ一ケ所
一 向吉田村ノ西ニ一ケ所

国立公文書館
National Archives of Japan

庄内組

一松本ノ城此地ニアリ木曽川ノ東ニテ川向西ハ嶋立組ナリ戌亥ノ方ニ放光寺山アリ麓ニ真言宗ノ寺アリ即放光寺ト云フ観音堂アリ寺ノ前ニ蓮池アリ中嶋ニ弁才天立ツ古城跡ノ山アリ久敷城山ト云傳ヘアリ誰人ノ築クト云コトヲ知レス中比犬飼氏ノ人在城セリ

トカヤ大飼村ハ此山ノ西裏ニテ木曽川ノ西東ニアリテ成相組ナリ放光寺城ハ
山ノ東ニ木沢ト云所ニ正麟寺ト云フ曹洞
宗ノ寺アリ是上野金松寺末寺ナリ小笠原長時ノ開起其所以等寺院ノ部見ニ
北ハ岡田組界東ハ山家與境界ナリ前ニ見ユ
辰巳ノ隅ニテ諏訪領神田村ト松本領三
才村ト並ヘリ是ヨリ南ノ方ハ出川組界
ナリ松本ノ城ヨリ午ノ方ハ町三十間ニ
一小嶋村アリ井河ノ城跡ナリ委ノ城ノ主記又古城記ニ見ユ

一 當郡古戦場

一 塩尻峠合戦ハ天文十四乙巳年五月十ナリ

晴信佐久ノ郡ヘ出テ仕置アル處ニ板垣信形飛脚ヲ
以テ塩尻ヘ小笠原打出峠ヲ越シテ働キ伊奈衆
モ働出ルノヨシ注進ニ依テ晴信時日ヲ移サズ諏訪
ヘ馬ヲ向ケラレ小笠原木曽両敵ト合戦アリ五月二十
三日辰ノ刻ニ小笠原塩尻峠ヲ下ツテ木曽ヲ同勢トシ
テ峠ニ備ヲ立サセ力ヽツテ合戦ヲ初ムル兼テ信濃
衆度々晴信ニ討負ケ小笠原滅亡ニ遠カルマシキヲ思ヒ
テ有無ノ合戦ト志シニ依テ暫ク戦ヒアル内ニ武田方
右備ニ頭ヲ以テ後ヘ廻ツシ峠ニ扣ヘタル木曽ノ備ヘ力ヽ
ルヲ見テ小笠原敗軍ナリ武田方ヘ討取ル数雑
兵共ニ六百二十九ノ頸帳ヲ以テ同日未ノ刻ニ勝鬨
歌ヲ執リ行ハル又其時伊奈衆ハ搦手トシテ塩尻ヨリノ

南伊奈郡境ニ扣ヘタル敵ヲハ板垣信形請取テ向ニ所
盥尻峠ノ合戦小豆原木曽討負タルヲ聞届ケ同日
七ツ過伊奈衆陣ヲ拂テ退ク氣色ヲ見テ信形進ミ
テノクヒ留ル敵モ返シテ馬足軽ナトシテ如何ニモ神妙
ニ見ユタリ然ル處ニテ信形ガ甥荻原與惣左衛門同九郎
次郎トテ兄弟アリシガ此九郎次郎二十一歳ニテ若気
ナレトモ武道ノカシコキコト兄ニモ勝レル者ナル故敵ヲ見
積リ兄與惣左衛門ニサヽヤキケルハ伊奈衆弓箭
切者ノ人々ナレハ大手盥尻峠ニ於テ晝ハ一戦勝負知ラサ
ル事アルマシキ處ニ一味ノ大身衆両人マテ後レヲ取タルニ
今申ノ半マテ退カサルモ不思議ナリ其上陣拂ヒニ
風モナケレト陣屋ニ火ヲカケス所々ニ火ヲ付タルヲモ女
消シヽハ謀アルト見ヘタリトユフ與惣左エ門ハ其年三
十五歳度々ノ手柄アリテ其時代中老ノ切者ナル故
弟ノ道理ヲ聞届ケ信形ヘ間近リヨリ敵方ニ午立
アリト見ヘタリ分別セラルヘシトユフ信形弓箭切者

近國ニ名ヲ知ラレシ士大将ナレトモ我カ同心被官等ノ諌ヲ
上サルコト一ツノ疵ナリシ故殊ニ若キ九郎次郎敵ニ手
立アルヘシトハ臆病氣ナルユヘヤウトテ兄弟ヲサンノヘニ叱ル
其内ニ日暮小雨降リ東西暗キ時刻伊奈衆返シテ倫
ヲ立ナヲシ攻合ヲ初ムル時跡ノ陣屋ニ士雜人共ニ三百
ハカリ窓ニ残シ置シガ三所ヨリ鬨ノ聲ヲ上ケテカヽル
板垣衆是ヲ見二ツニ分ケ跡先ヘカヽリテ勝負ヲ始ヨ
ト信形下知スレトモ出抜ノ行故板垣二百五十騎ノ同心
被官跡先ニテ四十一騎討死シ足軽雜人ヘカケテハ百五
十三人討レタリ敵ヲハ漸々馬乗三騎歩行者十一人討
取跡ヨリカヽル敵ハ歩行立故利ヲ得テ山ヘカラマリ
谷ヘ下リテ退クニ依テ一人モ討レス伊奈衆サスカノ
板垣ヲ手立ニ乗マ勝利ヲ得タリ彼九郎次郎若気
故臆病心トユハレタルヲ口惜ク思ヒ初メ先ヘカヽリ能キ
武者ヲ一人討テ其頸ヲ信形ニ見セ莞爾笑ヒテ又敵
ノ中ヘ押込討死スル板垣方ヘ討取ル伊奈衆三騎ノ

内一ツ九郎次郎討タルハ一番高名ナリ伊奈衆大キナル
誉レト近國ニ洪沃ナリシハ板垣一生ノ怪我ナリ伊奈衆ノ午立
ヲ捨テ然レトモ敵行アリテ殊ニ夜ニ入リ雨降タル戦ニ
跡先ヨリカヽラレ味方ノ備ヲ乱サス下知シテ勝負ヲ
シタルハ弱敵ニ勝タルヨリハ成リ難キ義ナリトテ晴信
ハ板垣褒美アリシトナリ翌二十四日晴信塩尻峠ヲ越
シテ桔梗原マテ焼働アリ木曽領ヘモ手遣アルヘキ処ニ
村上義清小県ヘ出ル注進ニ依テ小諸ヘ馬ヲ向ケラレケレハ
村上早々退散故晴信モ取テ返シ諏訪ニ馬ヲ立伊
奈ヘ働ノ手遣アリシトナリ

一又天文十七戊申年七月諏訪衆侫心ヲ起シ
筑摩郡ノ衆ヲ催シ一揆セシ時板垣弥次郎信里飛脚ヲ以テ木曽松本各
地戦故一万ハカリノ人数ニテ我等ヲ攻亡スヘキトノ義
ナリ晴信此告ヲ聞賜ヒ同十八日古市ニテ勢揃六千ノ
人数ニテ馳向ヒ先中物見ヲ出サレシ処ニ晴信着陣
ヲ聞敵ハ塩尻邊ニ陳取ル同十九日卯ノ刻塩尻峠上下ニ
テ合戦アリ敵地戦ナレトモ大将出サル故武田家
勝利討取頭数八百七十三此時晴信ニケ所手ヲ負
ハル矢疵鑓疵ナリ此鑓ニテ晴信ヲ突タル者ヲ小
田切平次左衛門討取ニ依テ晴信ヨリ感状ヲ賜ヒ
シトナリ

一天正十三年井伊兵部少輔直政木曽小
笠原両家ノ人数ト追合セシモ塩尻ニテノ
コトナリ　是ハ上田表ヘ三河ヨリ御人数ヲ向ケラレシ節両家
ヨリ真田ヲ見次援兵トシテ此所マテ人数ヲ出
セシ時参河ノ御人数ハ引取ラレ直政ハ佐久小県筋ノ城々
仕置ノタメ此邊ニ残テ一心ノ覚悟ヲ以テ追合木曽衆ヲ

三十六人討取ニナリ猶城主記上田ノ下ニモ載セタリ

一 桔梗原合戰ハ天文二十二年癸丑五月六日ナリ
小笠原長時三千餘ノ人數ニテ出テ合戰アリ武田方ノ
士大將年利左衛門尉飯富三郎兵衛馬場民部春日
彈正丹藤修理五頭ヲ以テ一戰ニテ勝利ヲ得小笠原方
ヲ討取數雜兵共ニ六百七十九次ノ日又長時四千五百人數
家中ヲ揃テ出合戰アリ七日卯ノ刻ヨリ巳ノ刻マテ戰ヒ
武田家勝利雜兵千四百九十三首級ヲ得テ同日午ノ刻
勝凱歌ヲ執リ行ヒ同十日深志ノ城ヘ取詰ラレシ所ニ長時
降參故誓詞ヲ取替シ城ヲ請取リ長時ハ浪人ナリ
委細城主記松本ノ下ニ載タリ　桔梗原合戰場今テハ
畑トナレリ又頭塚野村町跡ノ邊ニアリ其時野村町並ニ
方便山善立寺ト云フ淨土宗ノ寺モ兵火ニ燒失シテ町屋
トモニ今テノ處ニ引テ村居トナリ善立寺モ餘程ノ寺地ナリ
シカ小寺トナリシト云ヒ傳フ
其先木曾或ハ伊奈衆ト小笠原家地取合アリシ時此原
ニテ度々迫合アリケルト云ヒ傳ヘタレトモ記シ置ル書モナケ
レハ詳カナラス　桔梗原ヲ古歸京原ト云ヘル故實
ハ舊俗傳ニ載ス

一 松本城下安原町ヲ出テ北郊外ソリメノ
邊ヲ合戰場ト云ヒ傳ヘタレ共何レノ時合戰
アリシト云フコト慥ナラス小縣郡筋或ハ
仁科筋一味ノ麻績會田青柳邊ヨリ
働キ來リ此所ニテ小笠原家ニ屬セル大

養平瀬等放光寺山ノ城ニ取出テ深志ノ人数ヲ待合防戦アリシトカヤ又小笠原貞慶當城歸参ノ時是軽迫合アリシモ此所ト云フ説アリ

一 保福寺合戦ハ天文十九庚戌年九月九日ナリ

保福寺ハ會田與ナリ惣シテ郡境記ヘ書加ヘタル古戦ハ土地ヲハカケタルガ故ニ年号次第前後ノコトハ敢テ其項ニ記スニアラス一興ニ限リニ載セタリ又洩レタルハ追々書加フル故ニ不同多シ見ル人是ヲ恩ヘ

武田晴信松本ヘ働カントシテ陳鋪レアリ郡内ノ小山田諏訪杦垣一手ニシテ深志ノ追手桔梗原ヘ働ヘシト下知シ晴信ハ佐久ノ郡ヨリ出馬小縣ヘカヽリ浦野ヨリ保福寺タヘ働キ長時モ早々稲倉峠テ打越シ保福寺平ニテ無二無三ニカヽツテ合戦ヲ初ラル武田ノ先手崩ルヽ處ニ井利左衛門尉旗本ノ前備ナリシカ崩ルヽ先手ト入レ替リ戦時光手モ備ヲナヲシ左右ヨリカヽルニ依テ長時敗軍武田方ヘ討取数雜兵トモニ五百十九ノ内二百七十三ハ井利一手ヘ頭ヲ取リ先功ノ士大将共ヲ越シテ井利左衛門尉武功勝レタリ此時直ニ松本ヘ打入長時ヲ退治アルヘキ處ニ長尾景虎海野平ヘ出ラルヽ注進ニ依テ先此所ヲ差置景虎ニ向ヒ給フ九月二十八日ヨリ十月十日マテ對陳ノ内先衆迫合等アリ同十一月景虎退散故合戦ハナシ

一 苅屋原城攻ハ天文二十一壬子年ナリ

武田晴信八月甲府ヲ立テ小縣ヘ出馬アリ不意ニ保福寺口ヘ人数ヲ押入レ典厩並先衆ニ三頭ヲ以テ松本ノ城ヲ押ヘ旗本前備馬場井利等ヲシテ同三日早朝ヨリ此城ヲ攻ラル委細古城記ニ載スル太田弥助討死シテ此邉城々

皆落城セリ

元禄年中國繪圖改メアリシ節當家郡奉行差シ添ヘ物頭役宮部清絖ト云フ者ニ仰テ郡境等ヲ正サセラレシ時清絖當領ト他領ノ境ヲ順廻シテ百首ノ歌ニツヽリ置ケリ後ノ人郡境記ヲ見ル一助トセナルヘケレハ今此ニ載ル

他境頌廻百首

筑摩郡

松本と木曽寺を頌境は夜くたしまへ寒のゝ
海立た足川出て波や中ま松本南和田頌
三溝京横迂まりを山の神見通ゝて行和田地境
梲海渡水代のけく木伴板入とちや他从地境
岩垂の地境よりも木曽川を東まつくらとの傍
辺田橋乃南く行く木曽川沢西へまと行る松本の頌

本山の中の室山をうち切らるを流れては桜沢や
桜沢橋の中は木曽境ひし南は伊那路や
小野境は沢桜と桜ひし伊那諏訪境は西は塩尻山
かへつその葦見衛して諏訪境は鹿島塩尻村
茂出しや入道坂と门ふ桜原出取諏訪地境
牟田村の御村中出さゝのけと山境ある
神田村の本松地境とさへ北日山家諏訪頌
花小高き出し深川をとふみけてのうるやうこと寒茶山

諏訪領ハ廣沢寺山にあけくれ大月かし金太郎の入
一の沢大わらけ入たゝらや諏訪領境より入八ツ谷のこと
横山やまる沢のゝかわ辻に諏訪を松本四甲府路
まる沢の水をこさずと申す石見すら東わ口へ越
栗かれ山らしい坂をまくるこそ切る境より甲府坂の路
うつくしさ市より下くだるそのことを見よ上田領さかいまで
信のや舟の沢へ出ると武ぞまでつきて武石越
武石越さいの河原の向うに松本上田坂本路なる

進むやや板丸平場を打越え来り山やたちつたら山
まご山の峯は思田や金田仙台村路を辻ぞうし
金田坂へ太坂を石丸場大平ちらや金山境へ
白沢の事より東路しく金山唐田山境ひゝより
またぞる沢くだらり山や大がらう高山にけく金山境
ゆうし小大河原峯れそう山保福寺まで金山境
月沢や地獄谷山庵のこと保福寺まで内村境へ
保福寺へ下るとき山をわりこえて蔵人沢やまかる法をる

小野より清水を出山に続く上野國
上田須賀木(?)より中の小池(?)出山より山中(?)の
大出(?)や渋(?)川より(?)石(?)にまかせ下の岩
坂本の地蔵(?)の嶺(?)より上田(?)の山(?)に
関を通り榛名の湯山(?)榛名(?)を合くの岩
小谷(?)湯岩(?)まで合(?)山(?)尾(?)の沼入の石(?)
吾妻(?)より(?)早(?)の岩(?)や(?)村(?)
あ(?)海池やいつけの岩(?)を越(?)横倉(?)より(?)

横倉より見(?)作(?)小(?)坂(?)の境目(?)
稲含(?)といふや(?)大(?)曲り(?)より(?)大(?)
道心が岩より(?)ての(?)岩(?)より(?)諸(?)
赤岩(?)や(?)より越せば八幡村を(?)
榛名(?)の湯池の(?)風(?)や(?)岩(?)の湯
湯元(?)細(?)の(?)より(?)れ(?)の(?)
ちぢ(?)より(?)大(?)池(?)の(?)切(?)より(?)
あ(?)山(?)下(?)より(?)の(?)

いちご沢村より東へ引わけて松坂今田山須々へ出る
高也其のより坂細道也桐山より今田松坂
いちご沢から細道にかゝり也山までハ松坂の勝
いちご沢より山までの路のりハ二十町四十二間ある
まうふの道より川より麻績松坂須より山須へあり
あまりや宮沢林よりゆきハさぐもつゞき稲荷川お坂也
細道よりまゝ坂若と勝ふち寺と松本也
筑摩の沢川より十穂高松坂より八日町摩川

筑摩郡ハ南迄地也小ち松本より中山川
筑摩郡の境まで更級郡川為

安曇郡

犀川の瀬筋を郡境として東更級郡西安曇郡
宇留賀村ある古坂より也丹波島紙せハ松代まで村
さい川を丹場村より松代の東村へ丹海あり

丹場入るゝご岩よりかゝり小山坂則て境塚あり
さいの迫いらゝ岩とうあけて境ハ塚より山越より
右境ハ高瀬流よりにごる沢世つき沢あり天狗林を
神の迫よ南沢あり峯郎いゝこが峯への分け切る
細県や子思境の高よりも高い入おりつゞく大峯
屏風岩大沢よりも坂ひさいも奥境やこも見やき
かまが関横山よりも女文岩氷ある岩といふもあれり
こずりうつかこも深越や杉山へ落ちにかゝるも峯ばいり

見崑の高より北かゝつゞき横尾山まで松代さかひ
横尾より大沢北に沢ゝきし大石瀬境ハ若への分け
にごる浅松の尾よりもうあけてざゞうの峯と石瀬境ハ
ぞうごより文松代の領さかひ薬師の岳や杉天狗原
お通りがり山の二つのうら大沢よりも鉄嫁鉄の関境ハあり
二子かうもりがたけてうえぼりうら高沢沖まで石太と杉の沢へ切
石太村や白池飯詰来るく集て小鉄嫁の祠立てり
白池と杉の木の山へ石小さ山二つのかゝ毛けしろさかひ沢あり

さらは此所にて姫川や南のかたは越中境より
大網越て北の方葛葉峠十九町峯から越後江
大網橋の下にが島とのまるかまくら峠に関境する
かまくら山御境より遠見境目や鬼が岳へ上りても
越中や越後信濃乃三境鬼が岳と云過さ九
鬼が岳より横前鞍や越中風吹の山のふもとの岳
茶臼岳越中立山文のうちが嶽といふあり
後の嶽鬼の嶽や鉄に見る嶽横山ちかくしきれんのかが嶽

こらく嶽さらし越中たて山安房信濃越中
其らふ道より上て不動嶽越中信濃飛騨境なり
鍬入北へ出るにたて山高山になかへ
針の木岳立山高く又は鬼や飛騨の双六が嶽
野口入して越中嶽槍高嶽加賀前は飛騨境の
穂高嶽加西南焼嶽や信濃境から飛騨へ越る
御嶽や乗鞍は飛騨の方信濃境は大野川より
一の切谷境は濃州山は南へ通る高鞍の岳

家鋪や東の尾さきより北へ走りて木曽境の
大姥門関ハ東の境目にて大久保沢より出て
より出又よりあけて木曽境奈良井川の源より出
白川の末ハ木曽の奈良井川の落合あづさ川ハさゝら川先キ
関ハ見上かけてさみまて二里が所へ木曽領
入山の水ハ薮原や宮の越より飛騨の洞一色
木曽道大門よりあけて宮まで峠ハ薮の下

松本領東西南北道程
桜沢尾までハ二十里二十町余西小の辰
南東道野ハ十九里二十町飛騨境より保福寺まで

都百首

図書局文庫

国立公文書館
National Archives of Japan